

ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2011年4月～2012年3月
国名：日本

※今年度の年次報告書は担当者の名前やメールアドレスなどは伏せた形で冊子やHP上で公表する可能性があります。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 担当者

—

2. 学校概要

学校名 宮城県 気仙沼市立 小原木小学校
種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒988-0512
宮城県 気仙沼市 唐桑町 岩井沢 97-3
E-mail : harasho@chorus.ocn.ne.jp
Website : _____
児童生徒数：男子 31 名 女子 27 名 合計 58 名
児童・生徒の年齢 7 歳～ 12 歳

3. 実施活動（下記から選択し、ESDについては活動した分野に○をして下さい。）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
 持続発展教育（ESD）（国際理解 世界遺産 平和・人権 環境 気候変動
生物多様性 エネルギー 防災 食育 伝統文化 そのほか（ ）
 そのほか（ ）

4. 活動概要

1年間の主な活動内容について簡単に記載願います（欄が足りなければ、添付資料をつけていただいても構いません）。

1 「ふるさと 小原木」

公民館の協力を得て実施してきた学社連携事業『ふるさと学習会』が震災のために実施できなくなった。そのため、海をフィールドにした例年通りの活動ができなくなり、年度初めの計画を見直した学年もある。

今年度は、次のような取組を行った。

1・2年生： 学校の教材園でサツマイモを栽培・収穫した。苗を植え当番を決めて水をやり、除草して大切に育てた。収穫後は保護者や仮設住宅の住民を招いて秋祭りを行い、サツマイモと一緒に食して収穫を祝った。手作りのお神輿で仮設住宅前を練り歩き、収穫を祝う創作の踊りも披露した。

3年生： 「ふるさとを知ろう」をサブテーマに、地域の伝統行事について調べた。七福神の祭りや神社の祭典について、参加した体験をまとめたり、講師を招いて由来や祭りに込められた人々の思いや願いを聞いたりした。大震災のため開催が危ぶまれたものもあった。長く受け継がれてきたどの行事にも地域の人々の願いや思いが込められており、自分たちも地域の一員として、大震災に負けず、次世代へ引き継いでいく意義を再確認した。

5年生： 大震災の影響で学校の水田が使用できなくなり、バケツで米づくりを行った。収穫した米は少量であったが、それを食することで、食についての学習へと広げた。また、漁師だった児童の祖父を講師に招き、地域で盛んな定置網漁について、その歴史や人々の努力・苦労について、自身の体験をもとに説明していただいた。そして、震災被害の実際を調査するとともに、地域の水産業復興のために自分たちができることについて、未来に向けてアイデアを出し合った。

活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（ ）

今年度の活動結果について（下記から選択して下さい。）

- 大変効果的な活動ができ、大変満足。
- 効果的な活動ができ、満足。
- 効果的な活動ができず、やや不満が残る。

